

衆議院農林水産委員会ニュース

平成 30. 3. 28 第 196 回国会第 5 号

3 月 28 日（水）、第 5 回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

- ・ 齋藤農林水産大臣、磯崎農林水産副大臣、野中農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

鈴木憲和君（自民）

- ・ 平成 30 年産の主食用米の作付け見通しはどのようになっているのか。
- ・ 平成 29 年産の主食用米について過剰作付けを行った県に対してどのような対応をとるのか。
- ・ 新規就農者の定着に向けて農業次世代人材投資事業の見直しを検討すべきではないか。

池田道孝君（自民）

- ・ 今後の米政策の在り方について、農林水産大臣はどのように考えているのか。
- ・ 農地中間管理機構による農地の集積・集約化の見通しについて伺いたい。
- ・ 農業用ハウス等に附帯する貯水槽・発電施設等を設置する場合について農地転用許可を不要とすべきではないか。

佐藤英道君（公明）

- ・ 園芸施設共済への加入を促進すべきではないか。
- ・ 新たな植物品種の海外流出をどのようにすれば防ぐことができるのか。
- ・ 持続可能な開発目標（SDGs）の理念を農林水産行政全体に活かすべきではないか。

佐々木隆博君（立憲）

- ・ 農業・農村の所得倍増に向けた具体的な施策を示すべきではないか。
- ・ 農地の流動化について、農林水産省はどのように考えているのか。
- ・ G T A P モデルに生産性上昇効果等を含めるのは不適當であり、T P P 11 協定の経済効果分析を見直すべきではないか。

佐藤公治君（希望）

- ・ 学校法人森友学園に係る財務省における決裁文書の書換え問題について農林水産大臣の見解を伺いたい。
- ・ 財務省における決裁文書の書換え問題が国民に与える影響についてどのように考えるか。
- ・ 問題の本質を明らかにした後に行政文書の管理に関するガイドラインを改正すべきではないか。

山岡達丸君（希望）

- ・ 園芸施設共済の加入率の向上についての見解を伺いたい。
- ・ 収入保険制度の今後の動きはどのような予定となっているのか。
- ・ 経済連携交渉が行われたり、米国が日米 F T A に関心を示したりする中で、農林水産業及び農村地域をどのように守っていくのか。

金子恵美君（無会）

- ・ 福島県における里山と地域の再生に当たり、放射性物質対策と森林対策が一体となった取組が必要ではないか。
- ・ 平成 29 年度福島県産農産物等流通実態調査の結果についてどのように捉えているか。
- ・ 福島県産米の全量全袋検査を早ければ平成 32 年産から抽出検査に変更することについて農林水産大臣の所見を伺いたい。

田村貴昭君（共産）

- ・ 諫早湾干拓農地において行われる農業についてどのように捉えているのか。
- ・ 諫早湾干拓農地におけるカモによる食害の調査や被害の実態把握を行っているのか。
- ・ カモによる食害や排水不良等の問題が生じている諫早湾干拓農地の農業者に対する対策や支援を行うべきではないか。

森夏枝君（維新）

- ・ 放置竹林対策の取組への国による支援が必要ではないか。
- ・ 障害者の就農促進について農林水産省としてどのような取組を行っているのか。
- ・ 幼少期における農業体験について農林水産省としてどのような支援を行っているのか。

2 農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 36 号）

- ・ 齋藤農林水産大臣から提案理由の説明を聴取しました。